

# PCベースファインモーションが標準64軸へ**VerUP** 単一マシンだけでなく、より複合機に最適！

[RTMC64-M3/EC]

**Fine Motion**

FAPC専用モーションコントローラ「PCベースファインモーション」がバージョンアップしました。

単一マシンだけでなく複合機などにもより適したモーションコントローラとなりました。またIoT/M2Mにも役立つ機能も拡張しています。

※EtherCAT版RTMC64-ECのバージョンアップは2016年リリース予定です

## 1. 制御軸数の拡張(16軸→64軸へ)

MECHATROLINK  
PC Solution

EtherCAT

今までは標準(カスタマイズなし)で16軸/8タスクでしたが、バージョンアップにより64軸/8タスク制御が可能となりました。  
例えば、8軸装置8台を一括(1台のモーションコントローラ)で制御することも可能です。

※価格体系は4軸/1タスク~64軸/8タスクまで用意しております。

**Fine Motion**

FAPC/パネルPC



**メリット**

- ・単一マシンだけでなくセル型ラインや複合マシンに最適
- ・各装置に必要なモーションコントローラが不要
- ・複数マシンのデータを共有
- ・複数マシンの管理なども容易

MECHATROLINK  
PC Solution

EtherCAT



最大8台装置(合計軸数64軸)を1PCで制御することも可能！！

## 2. TPCロギング機能の拡張(IoT/M2Mに最適)

MECHATROLINK  
PC Solution

EtherCAT

今まではTPCロギングは2チャンネルの軸情報のロギングでした。そのため2軸の解析(真円度解析など)に活用できました。

今回のバージョンアップではロギング可能な**チャンネル数の増加**・取得可能な**ロギングデータ種類の増加**を実現しました！

最大64チャンネルの軸情報や内部ステータス・I/O情報・MECHATROLINK/EtherCAT/パケット情報など様々な情報を選択して取得可能です。

**before**

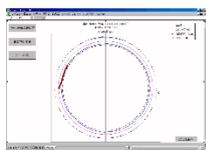
軸情報

指令位置  
機械位置  
偏差  
トルクなど

今までは2ch分のロギング  
例 X軸、Y軸の機械位置座標の合計2ch



◆サーボ応答精度評価



◆真円度解析

VerUP

**after**

軸情報

指令位置  
機械位置  
偏差  
トルクなど

サーボアンプ情報

消費電力  
寿命  
負荷率  
など

ステータス情報

各種(全体・軸・タスク)  
ステータス  
アラーム  
など

その他情報

I/O・マクロ変数・時刻  
MECHATROLINK/パケット情報  
EtherCAT/パケット情報  
など

**64chまで拡張！！**

例 X軸、Y軸、Z軸、θ軸の指令位置、機械位置、トルク⇒12ch分  
追加で7軸分のアンプの寿命、温度⇒12ch+14ch  
などのように軸やデータ種類を合計64ch選択してロギングが可能

**メリット**

- ・多軸の精度解析
- ・多種大量のデータがIoT/M2Mに役立つ  
例 汎用IoTアプリ等にデータをアップロードすることで異常予兆検知や原因分析が可能！

※MMCloudは安川情報システム株式会社の登録商標です。



**テクノ**  
COMPUTER CONTROL, COMMUNICATION

株式会社 テクノ  
URL: <http://www.open-mc.com>  
E-mail: [mail@open-mc.com](mailto:mail@open-mc.com)  
TEL: 04-2964-3677 FAX: 04-2964-3322  
〒358-0011 埼玉県入間市下藤沢1304-5

### 3. MECHATROLINK多系統に対応

(株)システック製の多系統MECHATROLINK通信ボード(SM101 [SY-M3-01])に対応しました。  
MECHATROLINK通信ボードを複数枚(最大6枚)用いることで短い制御周期で軸数を増やすことが可能です！

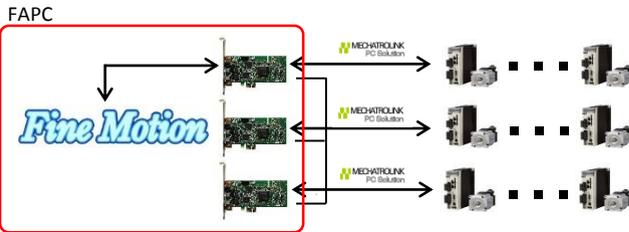


PCI Express対応  
MECHATROLINK-III通信ボード  
メーカー : 株式会社システック  
製品名 : SM101  
型式 : SY-M3-01

系統/制御周期	0.125msec	0.25msec	0.5msec	1msec
1系統	5軸	10軸	18軸	29軸
2系統(*)	10軸	20軸	36軸	58軸
3系統(*)	15軸	30軸	54軸	64軸



(\*)ボードあたりの割り付け軸数を均等にしています

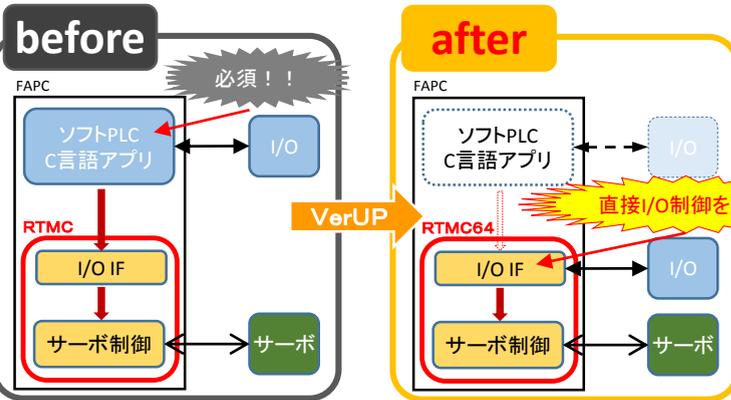


**メリット**

- 多軸でも制御周期を早くすることが可能！
- 制御周期が早い=加工精度やタクトもUP

### 4. 軸だけでなくI/O制御も可能

今まではPCベースファインモーションのみでI/O制御することはできませんでした。そのためソフトPLCやC言語アプリが必須でした。  
バージョンアップによりソフトPLCやPCアプリがなくてもI/O制御が可能です。  
各種スレーブ情報(DI・DO・AD・DA・カウンタなど)をソフトPLCなしで運転・制御できます。



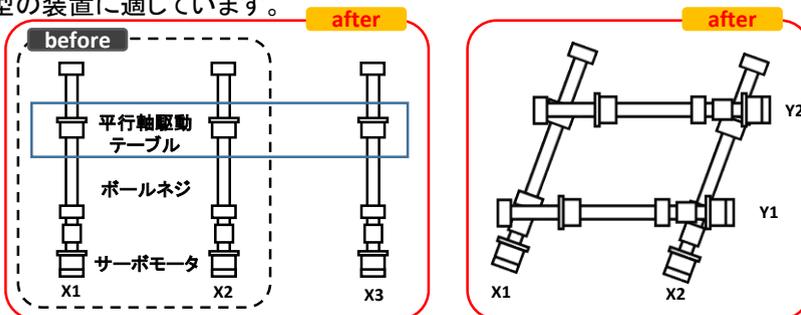
**メリット**

- ソフトPLCやC言語アプリのコスト削減
- PLCラダーやC言語アプリ開発の削減
- I/O情報をマクロ変数(判別や演算)として使用することが可能

※PLCラダーが必要な場合はソフトPLCが必要です。

### 5. 平行軸(ガントリー)機能の拡張

今までは平行軸(ガントリー)機能は2軸のみ&タスク内1組のみでした。バージョンアップにより、3軸以上の平行軸(ガントリー)やタスク内に複数組の平行軸(ガントリー)をもたせることが可能となりました。  
例えば、X1、X2、X3の3軸平行軸(ガントリー)や、X1、X2、Y1、Y2のような複数組の平行軸(ガントリー)を制御できます。  
大型の装置に適しています。



**メリット**

- 3軸以上の平行軸も制御可能！
- タスク内に複数組の平行軸を制御可能！